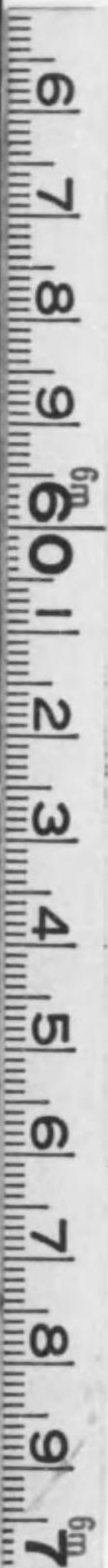


安坑里之箱第_三棧 四

309
90

鉄
天



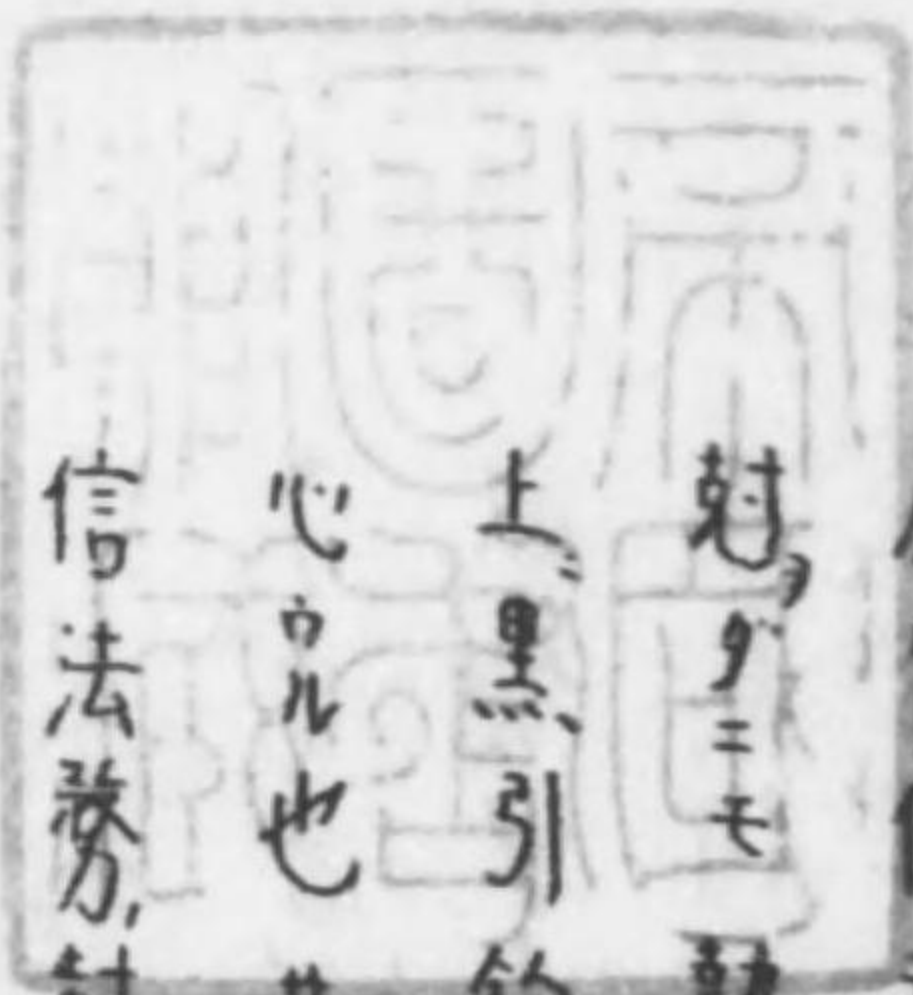
始





十
一
冊





一 小野流被_レ江_レ以_レ最極秘規模也_也勸修寺_ニ塔_ニ印
 信_以至極也_也勸修寺_ニ慈_ミ院_ニ流_ル於_レ寅_ノ時_ニ印信_{ナリ}云_モ
 嚴覺僧都彼_レ良勝連_ノ坊_ニ傳_レ受_リアリシカ_ニ寅_ノ時_ニナリシ_ノ故_ニ時
 封_シタ_シモ_執テ_テ則_レ今_ニ寅_ノ時_ニ印信_{ナリ}云_{ナリ}五_ノ丸_五智_明
 上_ニ黒_引鉤_心ウ_ルナ_リサ_レハ_先五_智明_論次_ニ五_丸論_ニシ_ト
 心_ウル_也サ_レハ_前後_イツ_レモ_クル_シカ_ラス_心マ_カス_ト習_ナリ_寛
 信_法務_封付_勸修_寺納_シモ_此印_信ナ_リ所_詮勸_修寺_ニ此
 印_信以_レ至_極也_也

一 當流如此相傳_ニ被_レ印_信初_重習_ナリ_五丸_五智_明
 明_上黒_引一_印心_ウル_也又_兩部_明共_イツ_レモ_不ニ_明ナル

故一轉心ウル故同物ナルニ如此黒引習事至他也祕
 密灌頂印信七重以當流至極也此印信初重五
 五智明如法花印用コトアルシ或一及等象點具足ル
 コト正流イト沙汰ナキコトナル故此七重印信小嶋印信
 ナリナト習、一アレ氏アマリニく此印信祕故也所詮七重
 次第祕ルト習、ハ猶淺畧ナルヘシ只加株无尽習以
 深意阿闍梨應機時ノシテ授与故イツレモ眞実勝
 劣ナキ大支ナリハ猶相承スルヲ以テ當流落居也諸流此
 寺内我相承ル処、一片く皆最大支執也東寺諸
 流乃山門寺門寺又後入唐祖師八家寺如此相承

存知時東寺一門乃至山門寺門寺一切大支皆我
 相承ナルシ皆是我相承カタツラくナル也是都法アサ
 リ位祕密灌頂大支只此支ナルヘシ當流外実不相傳
 早破々々穴賢々々東寺一門乃至山門寺門寺一
 切相承モイツレモ法身如來相承ソノ分々得益ムナシカ
 ラス故只彼法身祕ウ内證ソノマニ相承スルヲ正伝
 嫡流スル故法身内證マニ當流相承也サレ氏又至極
 祕ウ奥藏アルヘシ但ソレモ一往義ナルヘシ眞実深意阿闍
 梨意巧淺畧深祕アルキ也取祕之穴賢々々
 一祕ウ灌頂印信者トニ塔印信也勸修寺安祥寺當流異論

ナシ常閉塔印五支五智明用ルハ金剛智不空祕
密灌頂印明ナリ常塔印ニ于合掌ニ風指横ニ空
指並立ナリ是南天鐵塔結アラハス祕印ナリ是諸仏集會
所是則支法塔婆ヲ結結頭入祕印ナリ又如法花印五支
五智明ナリ是印明竟智不空祕ウ灌頂印明金剛智
入滅後不空三藏渡天親對竟智相兼祕ウ灌頂印
明ナリ此印明以至極祕ウ灌頂大支也又猶最極祕
明イ字用此イ一字金剛界胎藏獲悉地三部自然
アラハルナリイ誦イ及イ誦イ誦イ故以之至極也サ
レ又五支五智最大支ナリ兩部五仏五智曆々トシテ

而モ又此明モ不二ナル故自然是又兩部獲悉地アラハル
也サレハ五支五智明ヨリモマツハイ用事以イ嫡々相
兼最大支イ事也凡此兩明カキラス一切印明相傳
皆以イ真實淺深勝劣イハルイ有マシキ支也一切印
明无尽相兼モ皆是祕ウ灌頂印明ナルイ此故トニ
塔印明此印信尚モ祕ウ灌頂最極大支ト相兼スレ
是ハ猶モ淺畧印信七重印信以至極祕密灌頂印
信イスルナリ此印信无尽印明相兼スル也何皆祕ウ灌
頂印明ナルイ深意アサリ応機臨時授与也自門他
門諸流何法身位相兼セサルヤ皆是其流分ト相兼

十紙多

以法身真位倫。當流外。真實。位。得。ストイフヘシヤ。其印
明ヲ相承シテ信仰。臆持。皆法身真位倫。ハシ不可倫
執。但。又。倫執。スル堅執。仏智。小知。ウルナル。ハシサレハ。仁海。
嘉舍壇。イツレ氏。祕密壇。イラサレハ。アサリトハスルニ。タラス。仏
惠生セサル故。トハノ給ヘルナリ。但。堅執モ。又。仏智ナルヘシ。當田。
流。嫡々。相承。唯。授一人。大。夏。只。此。夏也。可。祕々。又
如。法。花。印。是。蓮。花。未。敷。形。ムスヒアラハスナリ。是。則。一切
象。生。胸。中。因。アリテ。ハ。分。シテ。蓮。花。未。敷。形。ナルヘシ。是。一切
象。生。ハ。モトヨリ。法。身。最。上。本。覺。如。未。ナル。コト。印。重。ナリ。サレハ
モトヨリ。象。生。本。覺。法。身。位。倫。ケル。ト。知。所。以。真。言。本

位。スル。故。象。生。胸。中。印。重。以。祕。ウ。淮。頂。祕。印。授。子。也。此
印。或。印。円。形。ナル。様。ムスフ。是。蓮。花。未。敷。ナル。ハ。円。形。ナレハ。トテ
如此。結。或。三。角。形。ムスフ。此。胸。中。蓮。花。象。生。心。ナリ。真。實。
心。以。仏。塔。スルヲ。祕。密。換。心。三。角。火。輪。ナレハ。トテ。三。角。ム
スフナリ。此。二。猶。モ。真。實。惜。故。也。只。ニ。チ。アリ。ノ。マ。ニ。ヨシ
アハセテ。タ。アリ。ニ。結。此。印。至。極。スル。ナリ。是。ワツラヒ。モ。ナク。タ
ハ。アリ。ナル。處。ヲ。以。至。極。故。ナリ。サレハ。此。印。於。テ。如。法。花。
印。云。或。法。花。印。如。心。得。此。印。ニ。空。以。開。法。花。尺。迦。多
宝。宝。塔。内。ニ。佛。並。座。セシ。様。此。印。内。兩。部。大。日。並。座。スル
ト。觀。スル。サレハ。或。又。二。空。ヲ。カ。メ。テ。印。内。入。ル。或。此。二。空

マシヘテ不二、大日、思、フ、ト、如此説、アレハ皆是淺界、我、也、
タ、如法、花、印、ト、心得、衆生、胸中、本覺、如來、印、墨、蓮、花、
未、敷、形、ナリ、蓮、花、花、モ、實、同、時、アル、物、ナル、カ、ユ、ニ、目、果、同、時、
層、タ、ト、アリ、目、果、則、胎、藏、金、剛、兩、部、ナレハ、兩、部、ナラ、ビ、テ、
層、ト、アリ、此、兩、部、不、ニ、ナル、故、衆生、胸中、アル、印、墨、三、部、
大、法、層、タ、ト、シ、テ、アリ、ト、授、与、ス、ル、ナリ、又、蓮、花、泥、アレハ、泥、ケ、カ、サ、
レ、ス、サ、レ、ハ、一、切、衆生、本、未、具、足、円、滿、本、覺、如、來、生、死、泥、
无、始、ヨリ、以、来、ケ、カ、サ、レ、ス、シ、テ、アリ、ケ、リ、又、蓮、花、泥、中、ヨリ、生、ス、ル、
物、ナ、ル、本、覺、如、來、真、實、生、死、泥、中、出、生、ス、ル、ト、イ、フ、ハ、シ、又、如、
法、一、切、諸、法、順、逆、善、惡、共、皆、是、本、覺、如、來、仏、智、三、昧、

故、皆、如、法、更、仏、智、遠、セ、ス、ト、ナ、リ、サ、レ、ハ、如、法、受、持、王、如、
法、勝、ナ、リ、如、法、義、モ、无、尽、相、兼、ス、ル、一、切、諸、法、如、法、
ナ、リ、ト、イ、フ、ヲ、以、テ、至、極、智、ト、ス、ル、ナリ、如、此、習、時、又、一、切、如、法、
習、皆、遠、曼、ナ、キ、也、サ、レ、ハ、一、切、印、明、皆、悉、如、法、花、印、ナリ、
ト、イ、フ、ハ、シ、是、目、果、兩、部、不、ニ、シ、テ、皆、如、來、佛、智、シ、テ、如、法、故、
ナリ、是、又、衆生、胸中、花、諸、仏、集、會、所、ナ、ル、シ、サ、レ、ハ、南、天、鐵、
塔、オ、ナ、シ、物、ナリ、此、故、衆生、胸中、蓮、花、曼、法、南、天、現、セ、シ、ヲ、
鐵、塔、イ、ヒ、彼、鐵、塔、衆、胸中、アル、ヲ、如、法、花、印、ト、イ、ウ、ナ、ル、ハ、シ、イ、ツ、
レ、氏、淺、深、勝、劣、アル、ハ、カ、ラ、ズ、但、又、一、切、印、明、皆、此、義、アル、ハ、シ、最、
妙、故、金、剛、智、不、空、授、ク、ル、モ、龍、智、不、空、授、ク、ル、モ、イ、ツ、

レモ 秘意灌頂大也

一或深奥印明、以至極大、シテ淺畧印明ヲハソノ相、アラス
トイフ事諸流、如此アルを是、大ナルアマリ也、或、正、灌頂壇、
於、アサリ、意巧、ヨリテ授与スル事アリ、或、此印明、最極秘
ナリト相承スル、モアルヘシサレハ一切淺畧深意、印明、皆
相承タ、ニクアルナリ其内、於、或アサリ、意巧、テ深秘、ハ淺
畧モサツクルコトモアルヘシ、或、又先規、灌頂壇、授与アレハ
ソノマ、トテ授与スルコトモアルヘシ、サレハ灌頂印明、多分、塔
印五古印ナトテ相承スル上、或台藏、大日、結、給タル法界
定印、イタツラコト、印、結、給タルヲヤ、或智奉印、金界、大

日、淺畧、印ヲ結、給、マスヘテ、ク如此、ハ得、マシキコト也、大
日如來、ヨリ皆悉、ハ祖相傳、一切、印明、相承スルナリ、但、只
今、ハ灌頂ナト、テ秘藏スル大、ハ大日、金手、竜猛、龍
智、不空、又、竜智、金剛智、不空、則、不空、已下、ハ惠果、弘法、
相承スル大、ハ更ナルヘシ、或、如法花印、ハ字ナト、ハ竜智、不空、
相承ニシテ、金剛智、不空、ハ相承、ハナシト云、ハ又、大ナルアマリナルヘシ
所詮、不空、ハ竜智、ハ金剛智、ハアラユル大、ハ更、ハモラサスミナ
く、相傳アルナリ、此、ハ更、ハモ分明、存念ス、ハキコトナリ、若、竜
智、不空、金剛智、不空、相承、ハ於、淺深勝劣、存セム人、大罪
ナルヘシ、サレハ、灌頂、作法、不空、未練、時ナル故、金剛智、不空、

兩部各別授与アリキ。童智、不空、金剛智、元、所有、大
夏、相兼アリシ故、不空至極已達、後ナハ兩部同時不二
マツハ、淺畧アル様ナレ、眞実落居、同物ナルヘシ、金剛智、不
空、初、兩部ヲ各ニ授与アリシカ、後、兩部不二、極位、授
与、童智、不空、初、不二、極位、授与シカ、後、又、兩部各ニ曆
々ニシタル、極位、授与アリシ也、サレハ、當流行、初度、傳法、式、
嚴覺、信覺、ウケシ、灌頂、式、是、兩部各別、行フヘキ、作法、
是、金剛智、不空、授与スル、作法ナリ、サレハ、淺畧、式ト云テ、延
命院、依具、支、灌頂、式、兩部同時不二、式、以、小野、極
秘藏、式、先、相兼スレ、ハ又、兩部同時不二、モ兩部各別、曆

クナルコトモ、勝、カナキオナシ物ナル故、當流、初度、傳法、灌頂、
行、後、別、延命院、式、ナトヲ行、コトハナキナリ、勸修寺、ハ別、寫
經、弟子、ナド、ニハ、トリ、ウケテ、延命院、式、行、リアリ、當流、所存、至
極、深奥、傳、據、先念、オホエルナリ、其故、彼、嚴覺、大僧都、初、
信覺、灌頂、ウケテ、世間、佛法、彼、信覺、遺弟、ナリニ、後、ハ乾、俊、
室、入、重受、一向、小野、流、以、立身、アリシナリ、故、ハ乾、俊、嚴覺、
信覺、相傳、ル、兩部、各別、灌頂、以、ハ我、此、相兼、授、申、ス、レ
氏、彼、信覺、傳、交、乾、俊、授、与、同、コトナルヘシトテ、當時、當流、
授、与、ル小野、印、信、授、与、重々、口、傳、相兼、ハカリ、ニテ、別、延命
院、式、以、テ師、授、コトナシ、嚴覺弟子、モ受ル、トモナカリシハ、當流、相兼、

様、兩部各別、兩部不二モオナシ物ナル故、イッレニテモ一度
ヲニモ相承アラハ通用シテアルヘキ処、兼俊存知スル故ナリ、師モ弟
子、写瓶、思ヒ弟子モ師、法流、一向、タテント思フニ若各別
兩部式、浅畧、テ兩部同時、作法深祕、ハイカテカ師別
ニテ兩部不二ノ式、不授弟子アリテ此、不二作法、受テサ
ランヤサレハ、當流、ハナニトモアレ、彼、兼俊、嚴覺、深意、嫡々相
承、ミナル故、只嚴覺初、信覺受テ、灌頂、式、行、別、延命院、
式、授、ク、トナシ、若又行ハト思ハバ、只今、延命院、式、可
行、ナリ、キ流、延命院、式、如此口傳、以、只傳受、ミテ、此、延
命院、式、内道場、淳祐、ハ供、元景、受、作法、以、一向、注

サル、也、列寺外儀作法、寬空、元景、授、テ作法、以、注、
也、内道場作法、ハ意智、不空、授、テアリシ、兩部同時、作法
ナリ、弘法、大帥、大唐、八月、アサリ、位、御灌頂、此作法、以、
受、テ給、シ也、故、此、延命院、以、他、祕藏、式、ト執、テ勿論、モ氏
兩部各別、モ兩部同時、不二、浅深勝劣、ナキ、極、大、ハ受、ナリ
ト相承、ミ又ハ、唯授一人、大、ハ受、ナリ初度、伝法、灌頂、以、信
覺相傳、灌頂、行、ハ思、ハカラス、小野、嫡々、相承、式、行、ハル、シ
其、信覺相承、ミアリト相傳、スル、ナリ、兼俊、僧正、嚴覺、大僧都、
信覺、受、テシ、此式、以、テ小野相承、ミ故、當時、此式、行、ハ小野
相承、テ以、行、ハス、シ、凡、當時、傳法、灌頂、何、流、ト受、テヌ、レハ、只

印信ナト授附法ツソルーモ花俊嚴覺附法アリシオナシ
ナルシ則諸流各ニナリトイフ凡兩部各別作法ト兩部不
ニ作法外アルマシキ事ナリサレハタトヒ他流於傳法灌頂
ウケタリ凡則深意アサリ意巧ヲ授トナスヘシ 範俊
所存嚴覺相承コトクナルヘシ

一當流常塔印ニ于合掌ニ大指並立ニ頭指横ニ大
指上置ナリ是開塔印也金剛智不空秘法灌頂印マ
ツハ授フル最大支ナリ但此印ニ大指左右開テ鐵塔扉
開^フスル此印授^ルナリ所詮此印於開閉共勝劣ナキ大支
ナリ而或開塔^ニモ或開塔^ニモ授^ル一偏授^ルナリ開閉

於本有修生台藏金剛イシク无念習^リ如常或開
閉ナリ開閉ナタル物ナリト無念所傳アサリ意巧^ニヘシ
一諸流ナトイフハ皆是當流カヲハシク^テ相承我流至極
大支トスル也 醍醐亦三重大支ナリハ當流開塔印^ニテ
凡^クイ^ハル^レ何^レ誦^キ此印明不空渡天^ノ意智受法至他
大唐^ノ皎^ク時意智不空^ノ給^テ女東土^ニ金剛智受法如
何云々不空三藏此印明以金剛智極大支相承^{アリ}
シト申サレシニ意智印^ニテ云此印明是諸仏肝心^ノ万法根
本ナリト云々是當流頓證^ノ法中此印明^{アリ}
一勸修寺大支ニ如法花印五月五智是當流相承^成

アリ西々勸修寺正統皆如此、其外仁和寺等諸流
ミナク、无尽相承アル也、イッレモ當流相承、カタハシク、ヲ
以其流、大支、唯授一人ナリ云フナリ、勸修寺、二塔、印
信、以至極トシ、西面、才三重、印明、以至極、スルナリ、諸流、當
流、カタハシク、相承、故、傍流、イフ、ハシ、當流、物、心、ウル、故、正流
ナル、ハシ

一瑜祇、灌頂、支、勸修寺、ナト、モ、授、与、スル、ナリ、又、諸流、沙汰、
支、モ、アリ、當流、沙汰、ナキ、ナリ、ス、ヘ、テ、兩部、大支、外、別、又、アラ、ノ、大
支、アリ、ト、相承、スル、ユメ、ク、當流、アル、マシ、キ、ナリ、彼、若、凡
若、聖、得、灌頂、者、文、瑜祇、切、文、ナト、云、テ、自、門、他、門、如、法

祕藏、事、ナリ、此、印明、ナト、ヲ、以、テ、瑜祇、灌頂、印明、ナト、イ、ラ、フ、
レ、氏、當流、是、只、兩部、大支、相承、ス、ナリ、此、文、祕、ス、アマ、リ、瑜
祇、終、キ、リ、イ、タ、ス、文、イ、フ、ナリ、或、弘法、大師、御、作、ナト、イ、フ、義、モ
アレ、氏、當流、只、彼、終、ヨリ、切、出、ト、相承、ス、ル、也

一勸修寺、流、唯、授、一、人、最、大、支、アリ、ト、イ、ヘ、リ、左、右、兩、手、半
五、古、印、結、テ、兩、膝、上、立、右、ア、テ、オ、カ、示、外、外、誦、之、也、
ア、テ、又、外、外、誦、後、兩、手、合、外、縛、五、古、印、結、テ、
一、字、ヲ、誦、ス、此、印、明、成、テ、僧、都、獲、麟、之、剋、只、範、俊、一、人、
授、義、範、此、大、支、不、授、由、密、之、示、之、爰、勝、覺、義、範、淨、瓶、
ニ、テ、範、俊、室、入、テ、受、法、範、俊、此、大、支、有、无、云、為、勝、覺、隨、分

三部具合口傳云々 兩部不二祕

一不空渡天夏過竟智灌頂金壇如法花印字金壇字獲胎壇同印字胎壇字一切衆生自心本有法身祕
六塔也次事法塔印二風置五智五智開閉共用已上金剛智竟智兩師所傳无无異金剛智授兩部各別後授不二竟智初授不二後各別灌頂也灌頂大夏宝珠作法祕方一切大夏彼大日法身嫡々相承金剛智竟智共所殘相傳更无異是唯授一人夏此一夏也最祕之

一不空授惠果先金壇初重塔印明胎壇五字明胎壇五字明次

塔印開五智五智如法花印三具合此外无

一惠果授大師六月胎外五古七月金初重塔印命字明八月阿闍梨位祕灌頂此時六月七月印明通兩部示之塔印開五智五智妙成就印言如法花印一切衆生自心本有法身祕塔印也自元持此印出現也持胸中祕三部具合无所傳一凡心如合蓮如法花印心如滿月輪印誦文用印息自心存明也云最祕之又八葉開蓮印是以八葉月輪也最祕云諸法如此云

已上五箇大夏以範俊自筆記

書字之當流七重印信所傳或息以為明或長短方
圓形ウコカサスシテ月輪云ル夏此範俊所記口傳以
為證也月輪諸法如此蓮花三昧開久円形月輪
蓮花ナルシ乃至塔五古寺一切物一々如此ナル
一血脉夏当流唯授一人大夏之成者授範俊血脉云
夫遠自大日如來迄先師曼荼羅寺僧正胎藏界亦
十葉金剛界亦十五葉師資血脉相承明鏡云々
又予祐授元果血脉云金剛界者始自大日如來迄
至般若寺僧正大師凡經十二代嫡々相承也云々

大悲胎藏始自世為迄至我之大師傳十一代云々
又元果授仁象血脉云夫以遠自大日如來迄于蓮
臺僧正胎藏界十二代金剛界十三代相承傳未石
山内供又同葉也云々嫡々相承血脉文如此之是
大ナル不審ナリ諸流更不分別也或胎藏一葉迄大日
金薩連磨搦多善先畏玄超惠果大師已上金剛界
一葉遠大日金薩竜樹竜智金剛智不空惠果弘法
已上代々相承事ナリト存知スル也當流相承大夏台
藏金剛界約金剛界胎藏約大日如來金剛薩埵竜
猛竜智金剛智不空惠果弘法已上八代寺葉相承

又大日如來金剛サタ竟猛竟智不空惠果弘法已
上七代寺葉相承習ヲナリ若兩部一界也一界處相
承心得ルナラハ已大師相承規模アラス已山門等相
承兩部各別師相承故遂不二位不相傳ナリ此故大
師相承規模備兩部不二極果故一界ヲアケテ兩部ア
ラハス深意代々小野ニハアラハス此二條印信書授
祖師此深意隱密ヲ如此印信書給ナリ若此深意シ
ラサル物ヲトヒ小野代々自筆印信正文持シタリ只
松櫃皮古噴ナルヘシ更印信相承スルハヒククシ綴印信
正文持セス此口傳嫡々相承正小野代々印信相

承スルハシ殊小野代々印信正文範俊公家寄進シテ
鳥羽宝藏安置セラレテ未資持セス故彼印信正文相承
須故嫡流付當流ハカリ此大更相承スル嚴覺宗意實
嚴已未代々唯授一人相承也穴賢々々殊以可秘
々々此寺印信外是已下印信胎藏一葉也金剛界
一葉遠更口傳如此ナルヘシ

一寺葉不寺葉更勸修寺ナトハ金智不空竟智不空相
承習ナリ是血脉ヨクモ習ヒラエヌ物更々當流寺葉ハ
竟智不空相傳金智不空相承共兩部寺葉代数
ナリ不寺葉他門コトク台藏一葉也相承更ナリ凡兩部

各別師相兼ストモ兩部、代致、寺葉在モ不寺葉ナルモアルヘ
キ也、不寺葉、スヨシモイヒテハ兩部寺葉、又心得事ハスヘテ
タツマシキ事ナリ、當流、嫡傳ナル故、ウラノト相兼スル也、小
野代々血脉、習ヒ又時、无、後与スルナルヘシ

應永廿五年十一月一日僧正御房御自筆本令書
写者之未代重宝尤可被之穴賢々々
金剛仙才 啓

雖為此唯嫡書寬延四年於興奉青巖寺衣部屋以

善集院御本書字料紙細略故今亦再書者也空慧
于時宝曆六丙九月十九日夜亥刻騰字功了

昭和十五年九月十七日截之了 寬恭

恭私云当帖着用紙鳥子大和綴也寸法曲尺豎
五寸八分横四寸二分枚数表紙共三十四枚内
墨付六十三面、一白六行、一行十四字乃至十六字
詰也誤字脱字等少々有之今私改補之矣

紹隆秘門傳持法流誦修儀軌騰寫聖教是所以創
傳燈會時維昭和十一年二月矣師資列名遺後葉

教王護國寺法主

大阿闍梨 大僧正 松永昇道和尚

受者	大僧正	密門快範	受者	權六僧正	谷内清巖
同	大僧正	藤村密幢	同	權大僧正	鷲尾光遍
同	大僧正	湯崎弘雄	同	權大僧正	高見寬應
同	大僧正	富田敦純	同	權大僧正	金山穆韶
同	大僧正	平岡全教	同	權大僧正	玉島實雅
同	大僧正	加藤精神	同	中僧正	日下義禪
同	大僧正	蓮生觀善	同	中僧正	佐竹信光
同	大僧正	長谷室秀	同	中僧正	山本忍梁
同	權大僧正	川崎辨龍	同	權中僧正	峯堅雅
立會	立會	立會	立會	立會	立會
信	信	信	信	信	信
寬	寬	寬	寬	寬	寬
應	應	應	應	應	應
心	心	心	心	心	心
光	光	光	光	光	光

九命物

九命一結

中
續
卷

上

九紙物第一紙

寂極秘密灌頂秘中秘

第一面裏左端
上外題也

寂極秘密灌頂大夏七重印信受之仰云秘密灌頂
所望仁_ニカ_ニ塔印信可授ナリ此七重印信_ハ无_レ左
右更不授之彼印信七重初重大夏ナリ普通塔印
五_ノ五智夕ト_ハハ開_テモ開_テモナリ秘如法花印五_ノ五
五智ナリ若道者ナラハ_ハ一_ノ字明_ク授_ル此七重_ハマツハ
常塔印ナレ氏普通塔印ニテモ如法花印ニテモ乃至虚
円月輪印モ開_テモ用_ヘキナリサレハ彼_ノカ_ニ塔印印信
上_ニ引_ハ一_ノ印心ウ_ヘシサレトモ此秘密至極_ヲ習_フ時_ハ此_ハ七

九紙物

當流最大支、口傳アルシ法身、如來ヨリ弘法大師嫡々
相承給、本女細、祕口傳ナルシ當流、外更不傳、支ナリ勤修
寺モ嫡流トハ自稱スレモ此上、最極大支ラハ不傳、支ナリ
先令ノ口傳多ク、トイハ肝要、落居如此也、此上、口傳、
祕密灌頂ヲハ傳、タリトハイ、良勝蓮光坊不傳、又寛信
法務、不傳、只宗意一人、此上、委曲ヲハ受法、入眼ナトイフ
コトハ、只今傳カコトク、印明作法相承マテナルシ、仍祕密灌頂、
授、延命院具支灌頂ノ内道場、作法ヲ印明如法、花
五及五智、明ナルシ是、童智不空ノ相承、祕密灌頂、
金剛智不空ノ相承、祕密灌頂、當時當流初度行、灌

頂ノ作法ニテ五及五智、明開塔印、モ開塔印、モ授、シ
若写瓶ノ弟子ナラハ開開ノ塔印、共授与ス、シ但金
剛智、最初ニハ不空ニハ金剛界灌頂、授与ス、氏今胎藏
ヲサキ、授、コトハ相違シタルニ似、モ兩部各別行、故、只金
剛智、不空三藏、兩部各別、授、作法ナリ、兩部、イッ方前
後、ナトハ眞實、クルシシナケレ、氏先金、サキ、授、胎、後、授、コトハ
當流實、祕、スリナリ、其故、當、實、心ハ已、果、エテ、目、向、宗
旨ナル故、ナリ、目、ヨリ、果、向、ハ、普通、作法、意ナルカ、故、先、胎、授、
後、金、サツフルハ、當實ノ本意、ニアラサルカタノアル也、但眞實、當
實、目、ヨリ、果、向、モ、果、目、向、ヲ、モ、強、勝、劣、ナキ、コトナル、シ、又、本、目

九節物

本果時、目果更勝ナルマシキ故、兩部、目果於テイツレモ
更不可有苦夏也、只一往ノ義ナリサレバマツハ果ヨリ、目、向、
深祕カタアル也、故、初金後台、灌頂ノ作法ハ祕スル也、穴
賢々々
金剛智ト竜智トノ灌頂、置於テ授与スルナラ、委細記アリ
ソレハ更不可有外見、夏リ此分、勸修寺ナトモ存知スル
分、夏ナルニ當流、大師嫡々、相承ノ源底、究ムルナトイマコ
ト如此也

九節物第三節

範俊授嚴覺小野印信、祕密灌頂印明
如法花印

此字ハカク、梵字
被書此深意也

嚴覺授宗意律師小野印信時

同祕密灌頂印明授之同前

宗意授實嚴小野印信時、祕密同前

次塔印開闢、共五升五智

實嚴授賴真小野印信時、外五古印

次安元二年五月五日、祕密灌頂印明授之

如法花印 凡外凡外凡
凡外凡外凡

次塔印開五凡五智

賴真授良範律師祕密灌頂印明

普通塔印 凡外凡外凡
凡外凡外凡 開

已上金剛智授不空祕密灌頂

如法花印 普賢一字明

已上竜智不空相傳祕密灌頂

宗意授念範祕密灌頂

台如法花印 凡外凡外凡
凡外凡外凡

金塔印開 凡外凡外凡
凡外凡外凡

實嚴授文泉房祕密灌頂

塔印開 凡外凡外凡
凡外凡外凡

九帛物第四紙

祕密灌頂口傳

第一面裏左端
上外題也

實嚴授賴真小野印信時亦云如法花印祕密印ナリ
付此祕印无所殘授申ヘシトモ加程一大夏ヲ言祖

大師御素意モ難知タレハ後日授申スヘシトテ安元三
丁酉五月五日甲辰廿七歳時眞実大夏ヲ被授ケル
ナリ塔印五升五智明金剛智不空授シ祕密灌頂印
明ナリ此次又如法花印五升五智明竟智不空授之
祕密灌頂印言也當流相承大夏ナリ先度授与之時
後日ヲ期スト申モ此一大夏也云々
但七重印信授与之時此印信ハ祕密中之祕密ナリ
トテ七重印明授与時如法花印明ナリ此一字三部密
合大夏アリトテナリ被誦也云々先師口傳云々

九命物第五紙

祕密灌頂大夏唯授一人祕口傳 第一白裏左端
上外題云々
彼法身如來ヨリ高祖大師只一人眞言ノ奥藏嫡々
相承スルト云々東寺門流ニ諸流面々嫡々爭然ニ只
當流ノ眞實ヲ相承スル也无尽弘法大夏トテ諸流我
モノト思ヘモ所詮ハ先大夏トイヘルコトハ印ハ如法花
印明ナリナリ此印ハ一切衆生胸中アル未敷蓮花ナリ
是則多ク印ナリサレハ一切衆生ハ本本本仏ナル故皆
悉胸中法身如來印是具足ル故皆法身仏子ナリト
正夏法授与スル灌頂最大夏トスル也明ナリ一字ニ金

剛胎藏獲悉地三部ノ大法密合テ自然ニアラハル、當
流ノ外ニ更相兼テ凡言祖規模ハ不二、大夏ナリ山門
寺門トハ皆兩部ヲ各別師ヨリ相兼スル故、遂不二、極果
ヲハシラサルナリ東寺門徒不二、大夏ヲ言祖ヨリ嫡々相
兼スルトハイニ三部密合ノ大夏ヲ當流ノ外ニハ相兼スルトナシ
或又五智五智如法花印是至極秘密灌頂ノ印明、
由相兼スル是モ極眞實ハハ明借故也言祖御門流
不二、大夏ヲ相兼シ給ヘルヲ規模トスルコトハ只此印明相
兼ナルシ或如法花印外ニイハレ云々此等皆眞實
至極ノ義アラサル也不二、至極秘密ト者只如法花

印ヲ明也大夏秘密ナトイヘルハ是也此外一切所傳
皆是秘密灌頂ノ大夏印明也相兼スル又眞實不可
有淺深云々當流大夏只此夏ノ努力云々六賢云々

石山内供記云

彼明未蓮花密印繫心不乱、先眠若疲極住心而卧、
文

明珠者宗大夏宝珠所傳ナリ又明水大種子習時、
円形ナル也、是宝珠形ナリ蓮花密印者是則如法花印
ナリ大師嫡々相傳唯授一人大夏只此夏也云々

九紙物第六節

嫡記唯授一人寂大夏
此記範俊自筆大都寫

第一面裏左端
上外題也

金剛智三藏授不空三藏樣

最初授金剛界一界灌頂時印明

塔印合掌以二風二空相捻初重塔印也

言不空三藏授不空三藏樣

次授胎藏界灌頂時印明

外五古印 外自下及何

於同壇

塔印二風橫置二大指上二風扉上橫揚也

開引此印鐵塔變法現形云

開引此印鐵塔變法現形云

合掌如法花印此印鐵塔變法現形云

最祕云云三部冥合日傳

不空渡天大夏過竟智灌頂

金壇 如法花印此印鐵塔變法現形云

胎壇 同印此印鐵塔變法現形云

一切象生自心本有法身祕密塔也

次專法塔印二風橫置二大土

已上不空竜智対、金剛智対、於灌頂
直傳受如此也。但於此兩師此外印明
并諸言秘密大夏委細傳受相承
更无勝劣異、以之小野嫡々相傳大夏
也。大師嫡々奥藏也
不空授惠果

先於金壇初重塔印明不空如金剛
智也

次於胎壇内五古印五字明

次塔印開闢五列五智二風置三大上印也

次如法花印之三部冥合

此外无尽所傳无所殘也

惠果授大師

六月胎外五古 五字

七月金初重塔 皈命之二風置三大上

八月阿闍梨位秘密灌頂此時六七月印明通
兩部之由口傳也

塔印開闢五列五智妙成就印明等也

以下原不
復書之

如法花印 一切衆生自心本有法身秘密塔
印也一切衆生持此印重出現

スル也胸中在之

三部冥合

此外无尽所傳

如此代、於灌頂印明傳受也此上猶委細傳受
口決无尽在之皆是灌頂大夏ノイツレ^ハ印明ナルシ此
一隅^ク當流外諸流相表テ我流嫡傳ト存ル欵
只當流獨極^ト嫡傳ナルシ此灌頂印明内於テ醍醐^ハ
開塔印五大種^ヲイ^ハハ何明以至極大夏トス勸修
寺ニ合掌印如法花 五^ノ五智以テ至極大夏トスル
欵凡小野広沢諸流山門寺門寺大夏當流相表一
片^ク以テ其流ノ大夏トスル一皆傍流ナルシ當流

獨極^ラシル正傳嫡流ナル也唯授一人大夏只此夏
也云々先師^ト被仰也穴賢^ト
範俊自筆記云

凡心如合蓮如法花印

佛心如滿月 月輪印

又八葉開蓮印

師口云八葉蓮花ヲサヘテ月輪トスル諸法如此也五

大先ヲサヘテ月輪トモ蓮花トモ見シ最秘^ト

九節物第七紙

九節物

口傳大夏

八祖相傳塔印如印信五智五力是八祖相傳无予
細大夏如是可落居仁アリ

師口云合掌于二風横ニテ二空上置也開塔印五力五智是
則大日金手童子童智金智不空息目弘法嬌之相傳
大夏之又妙成就印外傳ニ大掌于中入二頭指ニ入宿得入真
言如印信之ヲ金手也童子也

「童智不空相傳大夏如法花印同二明也諸流是
秘云」又寂秘秘也是可落居仁アリ

師口云合掌印五力五智是則金剛智入滅後不空渡天

ニテ童智开相傳大夏之他秘密灌頂印明也金剛智不
空此秘密印明不被授之時即示列本故欲大日金手
童子童智不空息目弘法云

「當流存知分八祖相傳塔印是八祖相傳秘密也
兩方相傳同秘密習秘也如此アルハ秘ハニアリ
是可落居仁^位アリ

以前開塔印五力五智明誦ハ金智不空授与スル寂
秘秘密灌頂印明之如法花印五力五智童智不空授与秘
密灌頂印明也此兩様更无勝劣最秘秘密灌頂印明之
以之當流相傳大夏トスル余流更不存知之由先師之被

仰也六賢云々

一 竟智不空授法了、既唐時於東土授法源底如何、
被尋件如法花印同一明、被誦竟智云諸仏肝心
万法能生云々

印可了則諸流是、秘密思、落居欲當流習是可落
居位アリ

金剛智入滅之後不空竟智云又法ヲハリテ後既唐時竟智
問云汝於東土金剛智受法如何云々、不空答云如法花印
五月五知日云々、此時竟智知日印可云此印明諸仏肝心万法
能生也云々、故此印明、以テ秘密灌頂印明也、故此秘密

灌頂印明ヲハ不空、金剛智云音知日ニ相傳之給ル也云々

一 善无畏台金剛智金相互一界一印一明、以四界
渡心アル欵此条不審是可落居也

外五古印云々、此印明善无畏授金剛智印明也
胎藏也塔印合掌ニ風、甲ヲニ空ニ授スル初重塔印、既命
是則金剛智授善无畏金剛界也、故金剛智与善无畏互
師資ナリテ相傳スル印明也、但次開塔印云々、是本
有、印、故、台、藏、秘、印、之、次、開、塔、印、既、命、之、則、開、塔、南、天
鐵塔、開、大、日、覺、生、位、授、之、ス、ル、故、修、生、秘、印、ナ、ハ、金、剛、界、秘
印、之、如、此、相、互、秘、ア、レ、ケ、ル、也、最、初、授、之、ス、ル、ト、云、フ、印、明、ハ、初、重、

灌頂、印明也故。大日金手、竜智、金智、不空、惠果、弘法、
此相傳、主明、初重習也。

此印信以切紙可書之。是則花俊所記之樣也。五
为五智明、上、横点、重々習在之。然當流、只一塔印、
心得也。勸修寺、鈎心、ウルナリ、五智明、サキ五为後ト
ナリ、但前後任心云々。

以上表
以下言

先師最極御口傳云

塔印五为五智、金剛智、不空、相傳、スル大支也。祕密灌頂印明、
金剛智、竜智、習傳、給ヘト云。時節未到、未故、不空、不傳、授次。

金剛智入滅之後、不空渡天シテ、祕密灌頂印明、ハ竜智相傳
スル也。是則勸修寺流ナトハ、如此相傳、又金剛智入滅之
後、不空渡天シテ、受法之後、彼、竜智云、汝於東土、金剛智受
法如何トハレシニ、不空、祕密印、为イイハ云々、竜智印可云
是則諸佛、肝心乃法、能生、スルヨシ、及、印可アリケリト云、是
則、西々流、最極大支トスル、欵、當流、ハイツレヲモステ、スイツレヲモ又
トラス、是則、当流、外、猶モ、傍流ナル故、一隅ヲ相傳スル、欵、當流、大日
如来ヨリ、言祖大師マテ、嫡ト傳来、又大師ヨリ、當流マテ、嫡ト傳来
スル故、是則、正嫡、在故、不墮片隅、故、イツレヲモタカハスト見、然、
而後、一隅ヲ執、見、又イツレモ、タカヘリトモ見、此口傳、嫡ト傳来

更无他散能之習，可縲心藏之。此下二塔印信，範俊所記也。成之僧都我授与，灌頂印信。善无畏金剛智相傳，様、カキアラハシ給ル也。又小野六帖，大夏ヲモ此事アル也。

此漢字、私書ナク、
海 此漢字、私無推付ク

孔承丸承珠

一列子云 無推私云五月塔一印云

承珠丸承珠

妙奉士平明 無推私云是妙成社云

惠大真源聖觀淳元仁

真推私惠果大師真推源仁聖寶觀賢淳祐元果仁海云心得也此寺ヲ以テ諸流相傳スル也此仁承所記ハ妙成

就大師ヨリ嫡々相傳スルト見欵

已上先師面授口決聊記之可恐々々然而為不断法命聊記之此上重々口傳遺可尋々々々

法印推大僧都真推

九帝物第八紙

秘密灌頂印、宝珠造作、秘傳トハ不空金智、不受金智入滅之後、不空渡天テ竜智対テ此ニケ、大夏ヲモ相傳也。金智、竜智、此寺大夏傳給トイヘ、ソノ時刻未到、未間不空、不授也。不空練行功ツミテ渡天テ後時節到

未_レテ竜智相傳也故。祕密灌頂、宝珠造作、大_ト支_トハ不
空三藏、竜智ヨリ相傳也云云

勸修寺ナトモ如此相承スルナリ是則小野嫡々相承、判
底_トル也云々サレハ成_ル僧都、作纂要、灌頂殊勝_トアルハ
祕密灌頂_ハ不空竜智ヨリ相承ノ間如此纂要_ハアル
也云々相承殊勝_トアルハ金剛智ヨリ不空ハ佛舍利ケ
ンタコクシ、袈裟又如此重宝_トシテ相承アル自稱ナ
リト云々此口決大畧小野嫡々口傳云々

但後日又蒙仰様此説ハ猶當流真実至極ニアラス
所詮不空ハ金剛智モ竜智モ共祕密灌頂印明宝珠

造作、大_ト支_トモ又此外灌頂大_ト支_ト諸_テ大_ト支_トイツレモ受
先所殘相承之給ナリ纂要灌頂殊勝_トアルハ相承ノ灌
頂肝要ナリ又相承殊勝_トアルハ灌頂相承、肝心ナル故竜
智モ金剛智モ不空灌頂肝心相承又相承肝心灌
頂ナル深義ヲ自稱之給ナリ以之當流_安唯授一人、大
支_トスル也六賢々々
勸修寺ノ輩モ不可存知云々師説最祕々只此
支_ト也云々

九命物第九紙

法身嫡傳記

第一回裏花端上
外題

師傳云

秘密灌頂印明ハ小野嫡々相承大夏より而或此印明ハ不空対竜智相承スル也又或不空竜智金剛智共相承テ无異云々皆是一隅説テ所謂當流嫡々相承唯授一人大夏於灌頂壇竜智金剛智不空授与ス夏雖似相違始終落居竜智金剛智共不空相承更无異或兩部不二或兩部各別寺所傳眞實法界終性普門塵教三昧より仍山門寺門東寺寺諸流相承皆是當流相承大夏一隅ナリサレハ彼實嚴此嫡

く口傳テ相承アリシ故彼上網ヨリ以未諸流印信寺有其教是マツハ當流大夏ヲ秘シテマキラカサムル計ナリト相承スル也サレバ如此アルコトハ眞實諸流相承ノ印信悉當流相承ノ大夏ヲ无淺深勝劣故不可有堅執ヨシ也而又自法身如未嫡々相承テ秘シ奉ル大夏モアルハシ乃至諸法ノ所傳々如此ナリ是當流相承入眼也行住坐卧四威儀皆秘密灌頂大夏ナリ况印明皆秘密灌頂印明也サレハ深意アサリ一切印明以秘密灌頂印明ナリハ授与スル皆是夏无妄語夏ナリ又自門他門大夏皆其大夏ナリ若得此正傳之時自他諸流相

兼印明於テ或ハ淺深傍正論ニモ無傾動又嫡々相承
 大夏トイヘルモヲソレヲモ破スヘカラス是メツラニカラヌヨトナリ
 トモイフヘケレ氏法身ヨリ嫡々相承スル大夏又ソト掌ヲサスカ
 コトクニ相承スルカ最極秘密大夏ニテハアルナリ凡宗大夏
 イヘル物ハイカナル道、過ニモカキヲク物於テ大夏トシリテ
 相承スルカ大夏ニテハアルナリイカナル大夏モ目前アル物ナレ
 氏知ト不知ト差別ナリ宗最極秘密大夏トイヘルモ又ハ一
 切ノ人ノ眼前曆マトシアル物ナリ
 己上最極秘密々當流入眼大夏唯此大夏ナリ
 後日又蒙仰

如法愛染王法言勝等如法ノ所傳モ以前相承同義
 一切如法実相ノ義ナリハシサレハ諸言法モ通シテ如法
 義アルハシサレトモ行ツケタル分也如法花印ヲ秘スルモコ
 ヲナリ花秘密莊嚴ノ義ナリ花實同時因果曆然ナリ
 サレ氏如法五古印モ如法智奉印モ如法塔印モイ
 フヘキナリ自余一切如此最極々々

恭私云以上九紙一結横封帯云九紙一結
 九紙共用紙高野紙横幅四寸折疊之竖寸法各

紙共五寸五分橫幅全長第一紙一尺一寸二分
 二面最後一寸 第二紙三尺四寸六分 九面最後
 橫幅約三寸 第三紙一尺四寸八分 四面最後一寸 第四
 紙九寸一寸 一面最後一寸 第五紙一尺九寸八分 五
 面最後一寸 第六紙一尺四寸五分 四面最後一寸 第七
 紙二尺七分六分 一面最後一寸 第八紙一尺一寸
 一分 三寸 一面最後一寸 第九紙二尺三寸七分 六面
 三寸七分 一面者豎五寸五分橫幅四寸
 今表紙外題九命物云々 松案之又処々字左下
 用点アル原本一行一行示入

紹隆秘門傳持法流講修儀軌謄寫聖教是所以創
 傳燈會時維昭和十一年二月矣師資列名遺後葉

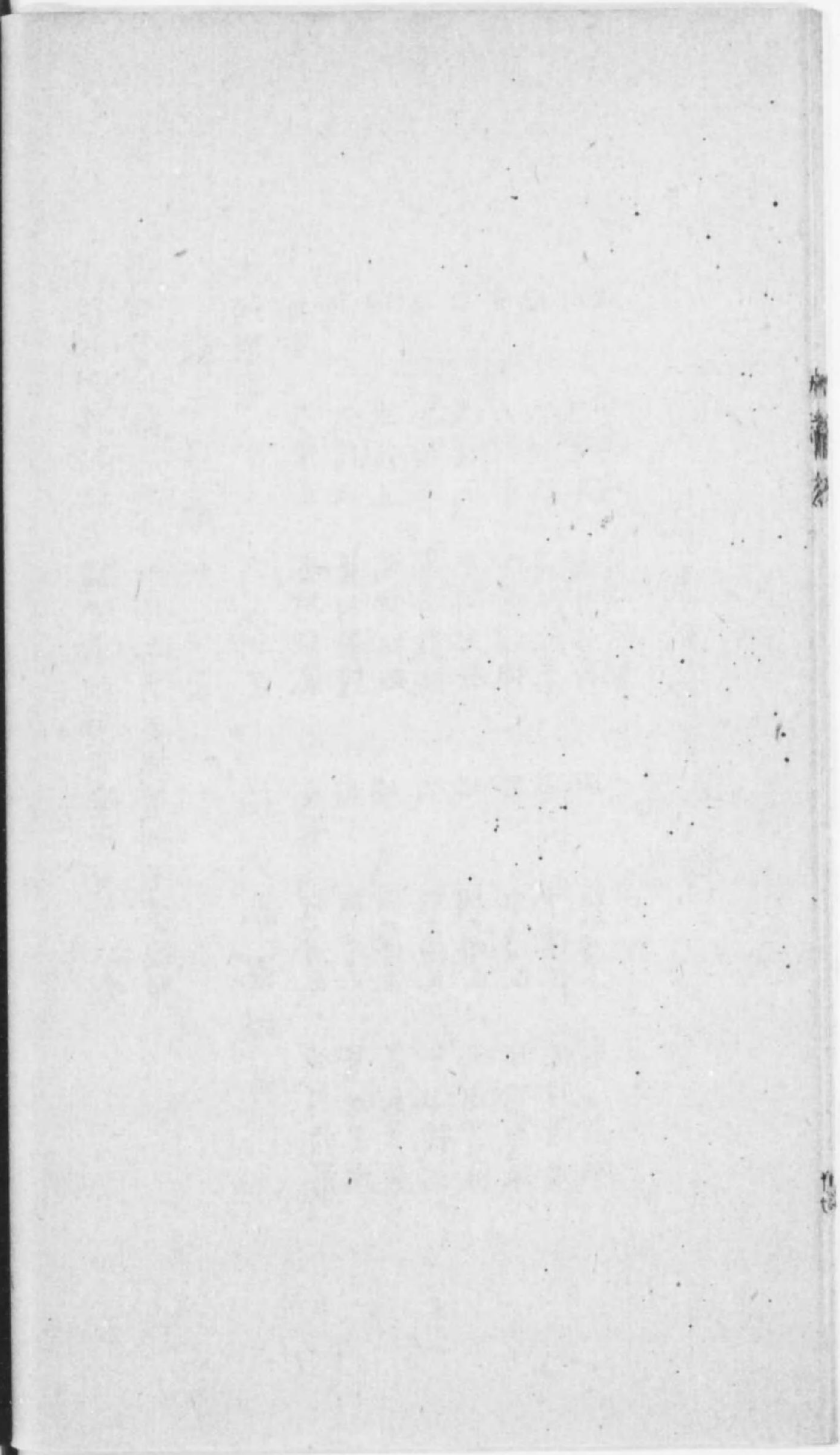
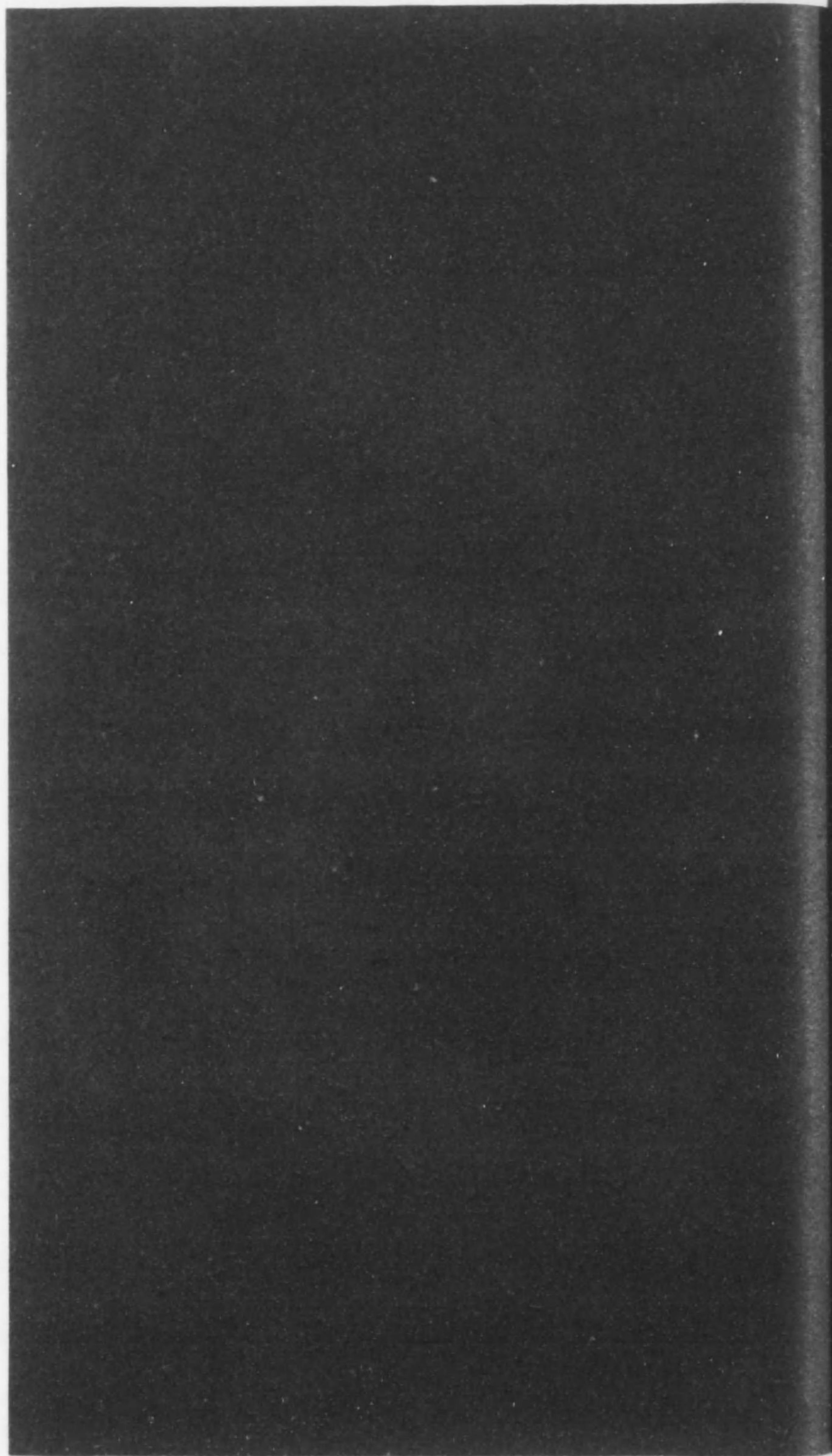
教王護國寺法主

大阿闍梨 大僧正 松永昇道和尚

受者	大僧正	密門快範	受者	權大僧正	谷内清巖
同	大僧正	藤村密幢	同	權大僧正	鷲尾光通
同	大僧正	湯崎弘雄	同	權大僧正	高見寬應
同	大僧正	富田敦純	同	權大僧正	金山穆韶
同	大僧正	平岡全教	同	權大僧正	玉島實雅
同	大僧正	加藤精神	同	中僧正	日下義禪
同	大僧正	道生觀善	同	中僧正	佐竹信光
同	大僧正	長谷室秀	同	權中僧正	峯堅雅
同	權大僧正	川崎辨龍			

立會校合

寬應 信老



五紙物

最極祕

門主外更不可有外見

一醍醐傳才三重，以至極深祕トテ唯授一人最極閉
眼，大夏習也。不空三藏渡天テ旣唐之時，竜智菩薩
不空尋云汝東土テ対金剛智受法如何トアリケルニ不
空答云此三重印明，金剛智至極大夏由テ授与アリケ
ル。竜智云此印明是諸佛ノ肝心万法根本ナリト印
可アリケル也。不空三藏已未嫡々相承ル也。故西々竜
智金剛智不空相承モ竜智不空相承共ニ兩部等素
相承大夏更无遺目相承ル也。此才三重印明云
塔印虚心合掌二風二空並立即成
天所不至印也。閉塔印ナリ

明 及ニ一ニ印

金剛經

兩部不二、小涼丸故一印一明之不二云、先一印一明、
明ニテ不二アラハス但又ニテ不_レ忘也

此印明、当流、頓証善提法、中三重印明、中在之又
トニ塔印信授与、時閉塔印、授与アルナリ是則当流
大夏相兼、一住、義ナリ

一勸修寺、傳トニ塔印信、以テ至極唯授一人、最極閉
眼ノ大夏又トスル也其大夏印明云、或ハ長夏相兼、大夏ト云
ナリ

如法花印

此ノ様アレモ浅ナリ
下ノ讀、様至極、落居トスルナリ

明
（_レ）
明

此ニ真言ハ上黒引ハ勸修寺釣心ウル也
ワリナカラ、真言ハ前後任心ト口傳スルナリ

等兼相兼、不_レ等兼相兼、一方、是金剛智不空、相兼也
此相兼、以テ竜智金剛智不空、相兼、显ス、一方、竜智
不空、次第ニテ不空、竜智、対、重受スル規模、アラハス也、如
此兩様、相兼、為、显、一界ツ、片ナカヒニ、奉之也、紹六、為
セ、ト云事、心、不空、竜智、相兼、依、ト得意、此故、血脉
台藏、一葉也、金剛界、一葉也、小野代、祖師如此書
頭、似口傳、更勸修寺、不相兼也、当流、ハカクニ、此印信

宝僧正授畢成宝僧正トテモ此印信傳授相兼上ハ
 故寛信法務封付テ認置タル經藏ノ印信ヲ拜見スハシ
 トテ成宝真然兩人終藏印信封トキテ拜見スルニ更无
 少異仍兩人落涙言如元認置タル也云々此印信ト
 ニ塔印信当流ハ最初祕容灌頂印信相兼スルナリ仍
 勸修寺当流ノ印信以テ至極勸修寺唯授一人大支トスル
 也當流ハ七重印信以テ至極トスルナリ此七重初重
 印明如法花印五智明ヲ用ル習アリ醍醐勸修寺
 无冬九異說相兼多トイハレ以之落居トスル也醍醐
 ニ彼第三重印明勸修寺ハトニ塔印信以テ至極

大支落居トスル也

勸修寺大支左右両手半五古印結両手膝上立右
 アテニ云々不云々誦之云アテニ云々不云々誦之
 両手合テ外五古成テ云一字誦スル也此印明成テ
 僧都最後時範俊一人授テ更義範僧都ハ不授之
 由被示也彼義範嫡弟勝覺僧正範俊對テ受法アリ
 ケルニ機嫌ヲ云テ範俊被問ケルニ更此印明不存知之
 辨ナリ範俊先師被仰事无相違カリケルト被存之由口
 傳云々當流強此事无之但如此種々印明ナトヲ習
 事領証菩提ノ法ノ中多種アリ勸修寺ハ一々不習欵此

之命抄

口

頓証菩提法、花俊成、傳受アリシ一期、事トモヲ書置、
物ナリ勸修寺是ス不相傳、当流ハカリ、相承ナリ
凡灌頂大支宝珠、秘支大法秘法、測底只当流ハカリ
ニシテアリタマク、習ヒヲトス事アリ、凡惣口傳、相承ル時ニハ
更ニ先漏ナルハシ最秘云々

隆快云此御記最秘、但猶可聞口傳也、未令之
事有之故也可決云々
御本云

以宝性院御本写之云々

享保七^十八年九月廿二日書字一伎了

安流未資 勝慧

宝曆七年十二月二十日以或師本模写了

祥流未資 寛憲

寛政五^十八月廿日写得之

秋心文院 來體

天保八^十酉六月廿一日謹写之

八寺 良快

恭私云原本者用帝薄樣、豎曲尺五寸五分、橫六
尺六寸九分、唐折卷折交、用之、十七折之、橫幅四
寸折、疊之、今当册表題者原本第一折裏、外題也、
一面七行、一行十四字、乃至十六字詰、白紙封帶
橫作之、

昭和十五年十二月二日載之了

安流未資 高見寬恭

紹隆秘門傳持法流誦修儀軌謄寫聖教是所以創
傳燈會時維昭和十一年二月矣師資列名遺後葉

教王護國寺法主

大阿闍梨 大僧正 松永昇道 和尚

受者	大僧正	密門快範	受者	權大僧正	谷内清巖
同	大僧正	藤村密幢	同	權大僧正	鷲尾光遍
同	大僧正	湯崎弘雄	同	權大僧正	高見寬應
同	大僧正	富田數純	同	權大僧正	金山穆韶
同	大僧正	平岡全敬	同	權大僧正	玉島實雅
同	大僧正	加藤精神	同	中僧正	日下義禪
同	大僧正	蓮生觀善	同	中僧正	佐竹信光
同	大僧正	長谷宝秀	同	權中僧正	峯堅雅
同	權大僧正	川崎辨龍	立會校合	信寬	應光

三
紙
物

三
帶
一
結

傳法灌頂 師口記
曆應三年庚十一月廿五日傳受

第一面喜反左端
上外題也

傳法灌頂

曆應三年庚十一月廿五日 戊甲

初夜灌頂小壇言印真言傳受之

胎藏字

外五胎如許可時也

真言 九〇一六

後夜灌頂小壇所言印真言受之

一物

三
金剛字

多_ク有_ル印屈二頭指、以二大指
捻二頭指甲上

真言_ヲ云_フ434

此胎藏金剛兩部印真言、是彼嚴覺
僧都、信覺僧正、傳法灌頂、受時、相傳
也云云

次又ニ手合掌ニテ曲腕延指其形如宝形、
並ニ大指、覆席口、此印、二頭指、ノ、テ、二
大指、並、立、上置、二頭指甲上、此印ヨリハ袂

也此印ニ風
宝形ニテ二大指、左右間、コトハ開扉、

義アリニ頭指、並開、兩部一心、不ニ義ナル故、

次授獲悉地如金剛拳印言

是、金剛字羯磨會ノ、金剛拳并、印言

ナリニ手金剛拳、ニテ左拳、仰、右拳、

ウツフセテ覆右拳、上ナリ、兩拳間、一

寸ハカリ離ナリ

又取拙秘、以前ノ金剛字、多_ク有_ル印、二

手合掌ニテ曲腕延指、ハ、兩手合掌

シ左右、指、根ヨリ指ノサキマテヲシテ三角
形ナル様ニ結ナリ其形如宝形トイヘルハ両手、
指、三角ナルヲ以テ宝形トイヘル也云々



次血脉一紙口傳ハ在昔大日如未開大悲
胎藏金剛秘密两部界會トアルヲ或ハ在昔
トヨム様アレヒタ、在昔トヨム也云々

此寺秘口傳ハ皆小野範俊僧正
嚴覺受之相傳也

以上三命物第一命

許可記 曆應三庚十月八日授与之

右第一面裏左端
上外題也

許可

曆應三庚十月八日授与之

許可三庚十月八日子 准頂知行中傳受之

胎藏界五古印外五古印也

真言ヲ示シテ如印信

アリテ五瓶ヲモカサリテ瓶水ヲ灑ヘシ
此時ハ授花ナトモアルヘシサレモ近來ハ最畧ニテ
授与スナリ是ヲ以テ本式トキモハ公変ハ
付无案内事ナルシタトハ大唐ニテノ大師
六七月、字法灌頂ヲ模スレハ能ク可有御存
知事也但許可モ兩部寺葉相傳ノ大
事ナルコト唯授一人事ナルハ成嚴法印慶
親如法花印授変今此最極秘傳被思
食合也

- 一頭上灑水変羯磨舎五佛真言ヲ誦シテ
- 各々三度灑クナリ此時兩部全躰不二習也
- 一授印可時只如印信授与之入佛三昧耶事
不授与ナリ
- 一金剛杵偈文又戴杵変モ三度
- 一字輪觀寺間受者不着列座
- 一袈束変如法ナラハ師弟共如灌頂但師弟共
鈍色近來用之袈袂ハ五帖ナリ
- 付衣事未聞及之不可然但臨期事

諸事不可為先例傍例事

一堂莊嚴モ大都ハ如灌頂但近來ハ最畧スル
ナリ大壇ハ十六坏十四坏不同仕之

此拙略スルハ壇敷ナトモナシ佛布施ナトタニモナシ
當流多分先縁之仁ナル故ニ最畧スル多用之
凡許可ハ最初授与アル淺畧ナル様ナレ氏 杖傳多
ク小野ト付タルモ或又真言ニ祕ト付タルモ極祕口
決アルヘシ皆授与申シト了是ヲ兩部等葉嫡々
相承ナリト云々又モ祕口傳事凡大師

御相傳ハ兩部等葉外ハ御規模ナシ只夏

次此印明兩部不等葉相傳モカクアルソナト

口傳スルト落居オモフヘキ事ナリトソ有之

凡許可ハ兩部等葉相傳ト云々當流ハカリノ
祕口トツナシ能ク可有存念願

以上三命物亦三命

恭私云以上三命一結横封帶云三紙一結

三命共用紙古野紙寸法曲尺豎五寸五分横第

一紙一尺八寸二分第二命九寸六分第三命一尺

八寸二分、幅四寸、折疊之、各行字數均減有之
者一從、原本一行字數、截之故也、第三命原本
草書難讀解、後哲得善本、正之、

傳燈會謄寫部

昭和十五年十月五日截之、寬恭
十命物九命物五命物三命物四部一果衣也果衣紙
外題如左

九

中工慧心

十九五三紙物

興雅僧正記 諸

複製謄寫ヲ許サズ
傳燈會

紹隆秘門傳持法流講修儀軌謄寫聖教是所以創
傳燈會時維昭和十一年二月矣師資列名遺後葉

教王護國寺法主

大河閣梨

大僧正

松永昇道和尚

受者 大僧正 密門快範

受者 權大僧正 谷内清巖

同 大僧正 藤村密幢

同 權大僧正 鷲尾光通

同 大僧正 湯崎弘雄

同 權大僧正 高見寬應

同 大僧正 富田敦純

同 權大僧正 金山穉韶

同 大僧正 平岡全教

同 權大僧正 玉島實雅

同 大僧正 加藤精神

同 中僧正 日下義禪

同 大僧正 蓮生觀善

同 中僧正 佐竹信光

同 大僧正 長谷室秀

同 權中僧正 峯 堅雅

立會校合

寬應 信光

309
90

終

